

筑波大学法科大学院

令和7年度入学者選抜 法学未修者コース筆記試験

未修者コースの筆記試験では、読解力、論理的思考力、分析力、論述能力をみます。法律の専門知識を問うことはありませんが、法的分野に関連する問題が出ることはあります。

《出題趣旨》

【第1問】

設問で引用した文章は、難民キャンプの赤ちゃんの写真を見て、それを不憫に思い、助けたいと思って、寄付をするといった行為を例に挙げ、これは差別に基づいたもので、誰も「助ける」ことができないということを論ずる部分である。筆者によれば、誰かを「助ける」ということは、その対象を具体的に知り、それを基に熟考した上で行うものであり、また、その対象に深く関わることになるから、裏切りや失望から傷つくことを受け入れることを求めるものでもある。このような筆者の主張を十分に理解した上で、それを適切に説明することができるかどうか、について問うた。

【第2問】

本書は、女性差別が生まれるまでの過程を、政治思想史の観点から分析し、西洋と日本で異なるその背景を「家父長制」という概念により論じた書籍であり、設問で引用した文章は、日本の「家」における夫婦関係においては家父長制が成立していなかったという筆者の考えが述べられた部分である。文章を読み、このような筆者の主張を十分に理解し、それを適切に説明することができるかを問うとともに、論理的思考力を試すものである。

以 上